

2026年3月23日
京阪バス株式会社

京都地区における運賃制度のシームレス化について

京阪バスでは、運賃箱の更新にあわせて、地下鉄・市バスとの連携を深めるための施策を進めています。

記

1. 背景

人口減少・高齢化進行によるバス利用者減少、大型二種免許所持者の減少や運転士の残業時間規制等の2024年4月施行の法令対応等により運転士不足が深刻化する中、現在の交通ネットワークを可能な限り維持するため、京阪バスと地下鉄・市バスが連携できるよう運賃制度のシームレス化について、取り組むこととしたものです。

2. 取り組み内容

現在、2024年（令和6年）4月に立ち上がった地域活性化プロジェクト「meetus 山科－醍醐」に掲げられている「持続可能な交通」に向けた取り組みとして、IC定期券の共通利用化等について、京都市・京都市交通局と協議を行っており、今後、具体的な内容について、検討を深めていきたいと考えています。

以上